

令和3年度

「小学生を対象とした建設現場見学会」を開催しました。

1. はじめに

令和3年度「小学生を対象とした建設現場見学会」を開催しました。

この取組は、小学生を対象に、棚倉矢吹線川原田バイパスの道路新設工事の現場見学会を通じて、建設業の魅力を伝え、興味や関心をもってもらい、将来の建設業を担う人材育成を目的としております。

今回は、中島村立滑津小学校の6年生（22名）が見学に来ていただきました。



2. 見学会内容

- 日 時：令和3年11月12日（金） 9：50～11：40
- 対象小学校：中島村立滑津小学校
- 参加人数：6年生22名、教師等2名 計24名
- 見学場所：棚倉矢吹線 川原田バイパス（中島村大字川原田地内）



3. 見学会状況



工事前（20年前）の状況と現在を写真パネルを使用し、どのように変わったのか見比べました。説明を聞き、工事期間の長さや、工事費用に驚いていました。

◆新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用や消毒などを徹底して実施しました。

体験① 工事現場見学



◆ 工事現場を歩いてもらい、工事の流れを見学してもらいました。

体験③ 道路について知ってみよう

《クイズラリー》



◆ クイズ形式で道路の幅や盛土の傾斜など、ポイントをまわって、自分自身で計測し、答えを見つけていました。自分で計測することで新しい発見があったようです。

体験④ 測量体験



◆ 説明を受けながら自分で設定し、測量機器を覗き込み、遠くに置いてある小さなキャラクターを見つけました。見つけた時は、指をさして肉眼でも確認していました。

体験② 重機試乗体験



グレーダー



バックホウ



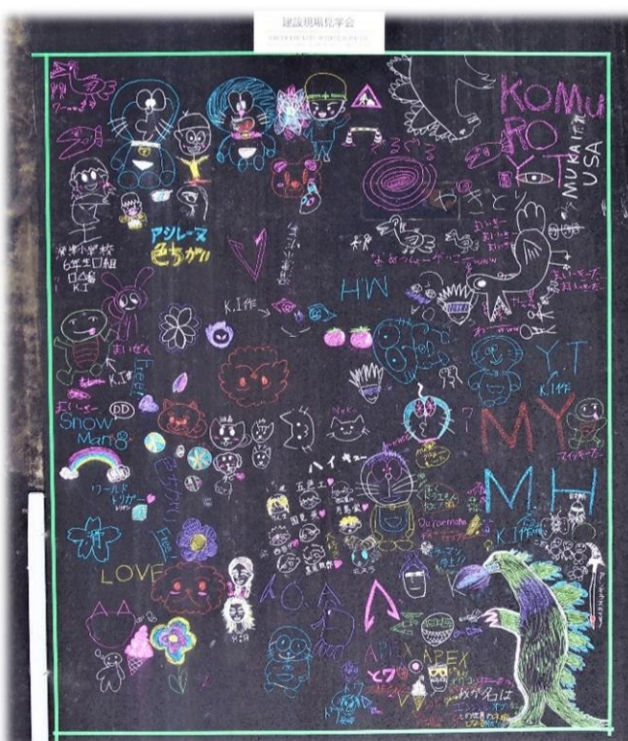
振動ローラー



タイヤローラー

◆ 重機に試乗してもらい、それぞれの役割などについて説明をしました。試乗に興奮していた児童もいて、とても楽しそうでした。操縦の難しさを実感し、工事現場で働いている方の技術力もわかってもらえたようです。

体験⑤ 寄せ書き



◆ 二度とできない体験かも！新しい道路にカラフルな絵を描いてもらいました。工事現場で笑顔で働く人を描いてくれる児童もいました。

今回の現場見学会が、子どもたちに建設業の魅力を知ってもらい、興味をもってもらうきっかけになればいいね！



今日の見学で、気づいたこと、わかったこと、思ったことを書きましょう。

見学会は、とても楽しかったです。ほくも建設の仕事をしてみたいで。その理由は、その仕事に興味を持ったからです。また、こいと思、たからです。重機に乗せていただいたことは、とても良かったです。今度は、自分で操縦して、みんなのまち(市、村)を安全安心にしたいです。これからもがんばってください。

今日の見学で、気づいたこと、わかったこと、思ったことを書きましょう。

車や機械をたくさん使っていて、こいと思、た。
道路を作るの20億かかることや25~50年かかることを初めて知、た。
道路のはみや高さなど色々なことを一つ一つこい思、た。



建設現場見学会

主要地方道 楡倉実吹線 川原田バイパス(中島村大字川原田地区)
令和3年11月12日 中島村立滑津小学校
福島県県南建設事務所(社)福島建設業協会(株)宮崎工務所

※写真撮影時のみマスクを外しています。

今日の見学で、気づいたこと、わかったこと、思ったことを書きましょう。

- ・女の人もふつうに働ける。
- ・重機は、ふつうの車と全然ちがう。
- ・道路に使う材量が思、っていた以上タカ、た。(2Kmで1000t)
- ・道路を作る時間やお金をたくさん使、う。
- ・重機には、1つ1つの役割がある。
- ・コンクリートを使うには、まず初めにいろいろの材量を使、ってから、コンクリートを使う。

今日の見学で、気づいたこと、わかったこと、思ったことを書きましょう。

- ・道路を大きくし、みんなが快適に走れるところ。
- ・道路エ事にたくさんの重機をつかうところ。
- ・遠くのものも近のように見える機械があるところ。
- ・人のためにがんばることをするのはすごいと思、た。
- ・大きな重機も、みんながテキパキできるところ。
- ・みたこともない機械があ、て面白いと思、た。

ほかにも、たくさんの感想をもらいました。子供たちの感想は、大人たちの感性にはないものもあり、気づきを与えてくれるもので、楽しく興味を持って読ませていただきました。このように子供たちが楽しんで参加し、様々な視点から建設業に興味や関心をもってもらえたことは、建設業全体の励みになります！



【問い合わせ先】

福島県県南建設事務所

(担当者) 主幹兼企画管理部長 佐藤 岳晴

電話：0248-23-1603 (直通)